

コンプライアンスに係る職員の意識調査等業務公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和7年10月29日（水）から10月30日（木）まで
2	場 所	—
3	出席委員	・総務局行政経営部長 ・総務局人事課長 ・総務局人事課行政経営担当監 ・総務局総務課担当課長 ・監査委員事務局監査統括監
4	議 題	コンプライアンスに係る職員の意識調査等業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	総務局人事課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	提案された企画提案書を基に、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。 A社：デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社 B社：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 C社：株式会社日本能率協会総合研究所 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 各選定委員の主な評価・選定理由については次のとおり。 （A社） ・類似業務の実績が豊富であり、設問の作成、調査分析及び改善施策の提案について、具体的な事例やアウトプットもイメージ図で示されており、業務実施の信頼感が持てる提案である。 ・スケジュール等について工程ごとの日程に言及するなど、総じて業務実施に関し明確な提案がなされている。 ・県の内部統制上の課題に対する理解があり、広義のコンプライアンスに関する記述があるなど、県の意図を踏まえた業務実施が期待できる。 ・ノウハウを生かした独自の内容が不足している。 ・経年的なデータ収集に触れるなど、中長期的な取組が提案されているが、仕様書においては次年度の取組の検討を目的とする中、評価に資するか疑問がある。 （B社） ・類似業務の実績が豊富であり、本業務の目的を達成することは期待できる

		一方で、アンケート設問作成や調査結果を踏まえた改善策の提案方法については、具体的な内容が示されていなかった。 ・ 具体的なスケジュール感に乏しい。 ・ 改善策の提案に際し、他の自治体等との比較に言及していないなど、総じて、本県の特性を踏まえた具体的な提案に至っていない。 ・ 調査結果にもとづく、具体的な改善策の提案がイメージしづらい。 (C社) ・ 豊富な実績・データベースの活用や、保有するベンチマーク指標と比較などに基づく効果的な提案が期待できる。 ・ 調査に際し、具体的な調査フレームを示した明確な提案がなされている。 ・ 調査結果の分析を踏まえた改善策の提案に至る進め方に関し、調査結果をどのように反映するかという部分の明確性について、積極的に評価するまでに至らなかった。 ・ 自由回答の分析により定量情報では把握できない情報の取得は期待できるが、調査結果に基づく、具体的な施策の提案がイメージしづらい。
--	--	--